

●むくげ・食道楽48●

神戸・六甲道 焼肉の「萬来」

飛田雄一

「アソシエの活動」
「アソシエの活動」



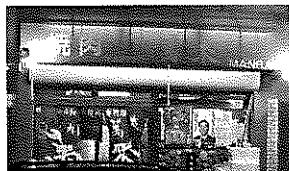
11月は、むくげ拡大グルメの会となつた。学生センター朝鮮語講座の名物講師であった徐正敏さんの講演会をグルメの会にあわせて？開催したのである。当時同志

社大学の研究生であった徐さんは、現在延世大学神学部教授。学部長をされたこともある。『日本基督教の韓国認識』(ナヌルアカデミー、2000)、『韓国教会論争史』(マルスムとマンナム、2002)、『アンダーウッド家のはなし』(サルリム、2005)、『李東輝とキリスト教』(延世大学出版部、2007)などの著書がある。ちょうどこの1年間、明治学院大学招聘教授として来られていた機会を利用しての神戸講演会であった。

講演会のテーマは、「韓国キリスト教の過去・現在・未来—歴史的反省と課題」。キリスト教史が専門の徐さんにこの際だからと、もっとも大きなテーマでの講演をお願いした。率直にお話いただいた内容紹介は無理なので、「過去」部分のレジメのみ紹介する。「韓国社会の変化とカトリックの役割／韓国プロテstant・キリスト教の受容環境／韓国プロテstant・キリスト教と3.1独立運動／韓国プロテstant・キリスト教の社会啓蒙運動／8.15分断、6.25戦争とキリスト教／軍部独裁時代の民主化運動とキリスト教／「民衆神学」と韓国社会／高度経済成長期の韓国社会とキリスト教の明暗」。日本と比較してお話くださった部分が特に興味深かった。

グルメ会場は、学生センターに近く+

教え子の学生の食欲も満たす+15人ぐらいで囲める、で選択した。この萬来の前身はキムチ専門店「大邱」だった。再開発にともなって現在の場所に移転した。



ここでは阪神大震災後に神戸でチャリティーコンサートを開いてくれたアン・チファンの会の打ち上げをしたこともある。自家製キムチの販売は現在も行なっており、キムチチゲハイキングの時などはそこで買っている。少々高いがとても美味しい。

萬来は焼肉専門店だが、焼肉はもうしんどいメンバーが多いので、鍋を特別に頼んだ。野菜たっぷりの肉・ホルモン鍋だ。シンプルに、料理はそれだけだったが、充分にお腹いっぱいになった。

ホームページの店長からの一言には、「お召し上がりになる際は、そのお店のおいしく食べる方法をぜひうかがってください（姜政子さん）」とある。あとで見たもので、今度、食べに行くときにはそのようにしたいと思う。今回予算よりだいぶオーバーしたのは難だった。



兵庫県神戸市灘区森後町 2-1-9 斎原ビル1階 (JR 六甲道北、フォレスターの北、駅より徒歩2分) TEL078-843-1034